企画・制作……MASH共同体
印刷……大丸クイックプリント
発行人……森　豊
昭和55年５月発行

MASH

NO,6

九州芸工大学園祭
エッセイ
ショート・ショート
アニメーション
ロック
オオカミとトラ
文句
マンガ考
スペースフアンタジー
その他

登山の話

高校生の頃、私は名前は忘れたが、ある山に登った。3000メートルはある高い山であり、いろんな種類の高山植物が繁植していた。
私は山の奥へ奥へと深く入って行った。空は青く、白い雲が頭上をゆっくり流れていった。しばらくすると、私は誰も、まだ足を踏み入れたことのない森林の中に気づいた。その森林の中には、美しい湖があり、私は岸辺にザックをおろして、タバコをふかした。その時である。一羽の美しい銀色のりんぷんをつけた赤いチョウチョが、私の近くを飛んでいた。私はそいつをつかまえた。手の中でチョウチョはぐちゃぐちゃになって死んだ。私はなんだかさみしい気分になり、ひんやりとする湖水に死んだチョウチョをうかべた。すると、そのチョウチョは、また息をふき返し、前よりもいっそう美しくキラキラと輝いて、森の中へ消え去った。私は下山して、仲間にそのことを話したが、誰も信じてはくれなかった。大体、赤い羽に銀色のりんぷんのチョウチョなど、今まで聞いたことも見たこともないというのである。私はそれからもあの美しい湖のある森林を何度も探したが、見つけることはできなかった。

エッセイ　TVアニメ〝ルパン三世〟考

僕とルパン三世の出会いは高校二年の時，友人のTが再放送（もちろん旧シリーズ）があると，非常に騒いでいたのが原因である。恥かしながら初放送の時の記憶が僕には無かったため，「おもしろいの？」ときいたら「お前知らんかや!?」と驚かれてしまった。何はともあれ帰って見た。それが運のつきで気に入ってしまったというわけ。

あの今でいう，いわゆる旧シリーズは確かに良かった。表の世界ではなく影（陰ではない）の世界の雰囲気があふれていたし，キャラクターもルパンを始め，いい意味でのスゴ味があり，迫力もあった。登場人物が既して少なかったことも影響しているようだ。そして何といってもルパンに影としての魅力があった。何というか人知れずに活躍する裏のエースとでも言うべきか，表のヒーローを主人公とした既存のアニメとは一味ちがっていたし，存在感さえあった。BGMも良かった。山下毅雄さんだったと思うが，先の友人などは再放送の時チャーリー・コーセーの歌うエンドテーマ「足元にからみつく…」がカットされたために，テレビ局へ電話したほどなのだ。

それに比べて，新シリーズのだらしなさ。まだ惰性で見ているのだが，旧シリーズを知るものには物足りないということは確かである。先の友人も「あまりにモンキー面でなあ…」と嘆いていた。確かに，ギャグメーカーとなれば視聴率は上がる。サザエさんに次いで30%の壁をヤブッタというのもわかる。しかしルパンはそうであってはならない。もう少し，アダルト志向にしないと駄作になってしまう。だいたい小・中学生にルパンの影としての魅力など解るはずもない。以前，夢軌道の大塚さんが最近のゴジラを嘆いていたけど，それと同じ気持ちになってくる。ルパン三世は子供のアイドルであってはいけない。ぬるま湯にひたったルパンに用はない！

ルパンはあくまで表のきらびやかな世界に入ってもらいたくない。そう思うのは僕だけだろうか……

以上担当　白飛田　桁

文句復活の日

文句復活の日

新年の決意もむなしく、また文句を書くことにする。僕から文句を取ったら何も残らないことがわかりました。創作ともども読んで下さい。

★

印象の強い話から。例の誘拐殺人。当事者に悪いと思うけど、知らない人の車に簡単に乗る方も乗る方だ。どうぞ何でもして下さい、と言っているようなものだ。車は走る密室となることを忘れてはいけない。それにしてもフェアレディーの売り上げが延びたんとちゃうか？

★★

高校野球があった。手短かに言う。騒ぎすぎ。何のため野球をやっているのかわからない。という本末転倒な状態。

★★★

自動車学校というより運転免許のこと。簡単に与えすぎである。あの程度の技量で町の中を走ることを許すと思うとゾーッとする。僕も合格したけど素直に喜べない感じ。

★★★★

プロ野球が始まった。江川さん期待しています。今季の結果はともあれ、あなたもやっぱり男でした。**MASH**2号で、岡田君が江川の罪として、少年たちの心にあった、血と汗にまみれたプロ野球選手のヒーロー像が巨人中心の権力主義の下にもがき苦しんでいる哀れな姿に変わってしまった。と述べている。でもこれは、正反対なのである。自分のどうしても行きたい球団に、全国からの批難をあびて一年、今では球団の信頼を得、敵にはマークされるほどになった。これは、自分の意志を貫き通すということを少年ファンに教えたことにもなっているのだ。行きたい球団のユニフォームをつける、この少年達の夢を身をもって示したのである。

★★★★★

2772を見に行ったのだが同時上映の象物語がまたひどい品物で、友人から聞いていたのだが聞きしにまさるひどさであった。おかげで2772が目立ってしょうがなかった。

どんなふうにひどいかというと、僕の後ろの子供の、終わった時の、「ああ、やっとで終わった、フウ」という言葉に代表されると思う。

★★★★★★

フォロースルー、何のことか知らない人はこの部分は読まなくていいから、先に行ってちょうだい。フォロースルーをやかましくコーチされた人も多いと思う。でも、これ本当はあまり役に立ってないってこと知ってる？フォロースルーの段階以前に球が離れてしまうのだからね。ただフォロースルーまでキチッとすると、フォームが安定するだけのこと。江夏飛田の一言スポーツコーチその①終わり。

★★★★★★★

よく球技で重い球、軽い球って聞いたことがあるだろう。あれはウソ！球の質量が変わるわけじゃなし「体重が球に乗る」なんてあんた、物理の法則を完全に無視しとるんじゃない。あくまで速さと回転のためだ。江夏飛田の一言スポーツコーチその②終わり。

★★★★★★★★

司会者で誰が嫌いかって、土居まさるほど嫌いな奴はいない。お前のおかげで楽しい番組も腹立たしい番組になるから早いとこ姿を消せ！

★★★★★★★★★

省エネでテレビの終了時間が早くなった。深夜働いている人には気の毒なことになった。この際昼間にも放送中断時間があってもいいんじゃない？

★★★★★★★★★★

酒を飲むと本性が出るというけれど、理性で本性を押えていてこそ人間なのだから（そうでなければ動物と同じ）人の本当の姿はやはり醒めている時だと思う。でも酒癖の悪い奴は手に負えんなあ。

★★★★★★★★★★★

「たけのこ族」などのダラの集団を見ると、あんたらは平和でいいのう、という気になる。ほかにすることないんかねえ。自分でむなしくならんのかねえ。頭の中どうなっとるんかなあ。誰か教えてくれや。

★★★★★★★★★★★★

SFで、レーザー光線を屈折させたり反射させたりしているが、変に思うことがある。例えばルパンⅢ世でマモーのレーザーをルパンが漸鉄剣で反射した所。レーザーは焦点を合せると数千度になるのだから、屈折や反射させる物体が溶けないのはおかしいと思うし、焦点があってなくて溶けずに反射するのだったら、威力はそうないことになる。そのあたりのことは、どう考えたらいいのかなあ。

これは私事ですが、最近ひどく落ち込んでいます。友達には「被害妄想だ」と言われるし、非常に危い状態な事は確かです。五月病どころではありません。もし、次号まで元気でいられたら、また作りますけど、ヘタをしたらこれが最後になるかもしれません。何かいい方法はないのでしょうか……

私の昔話

著者紹介　　北川　勉

九州産業大学工学部電気科在学中多大な読書量を誇り、特に童話に詳しい。今なおビートルズを愛し、毎日毎日大学で実験をくり返すかたわら、幻想的な空想に耽る。その将来を期待されている

小学校にやっと入学したころ、私の家の古い小屋の前に朝顔の種をまきました。それは、学研のかがくの付録についていた種です。その年の夏は、どんな花を咲かせるのかとても楽しみでした。夏休みになって朝、目を覚まして、雨戸を開けてみると、赤い花がたくさん咲いていました。私は、じょうろに水をあふれる位くんで、まきました。まるで小屋をおおう様につるがぐるぐるとからんでいました。その時、私は小供心に思ったものです。この可愛らしい赤い花の1つ1つに、美しい妖精が住んでいるのだ、と。

:また、私は、昆虫がとても好きでした。カブトムシ、クワガタ、カミキリムシ、ミンミンゼミ、みんな私の友達でした。中でも一番好きだったのは、チョウチョです。今は建物が、どーんと建っているけど、昔は、畑だったところに、春になると、モンシロチョウがヒラヒラと飛んで来ました。あの頃私は、幽霊は絶対に居ると、信じていました。特に夏は恐怖でした。私は、何故か寝る前は、外でおしっこをすることをならわしとしていました。私の家のまわりには、柿の木が気味悪くありました。こわくて、こわくて、早く家に入ろうと思って、ジョージョーと、おしっこを済ますと、目にもとまらぬ速さで、かわいらしいおテンテンを、さっとしまいこみました。青入道が、おいかけてきそうだったので、家の中にささっと、かけこみました。私は小供のくせに便泌にしばしばなりました。とうぜん、カンチョウを、おしりの穴にさされます。私はこれがたまらない位、嫌でした。私は、父と母が、私のおしりにカンチョウをしようと、追いかけて来るので、家中を命からがら逃げまわりました。私は成人した今でも何かおそろしい化け物においまわされる夢を見ます。あれは、幼い日の、カンチョウの恐怖からまだのがれられないでいる為でしょう。

小学3年の冬、雪がどさっと降った日がありました。あたりは一面、雪にとざされていました。おヘソの高さまで、つもっていました。私の家の前の道の向かい側に、ブタ小屋がありましたが、その横に細い路地がすうっと奥までのびていました。家とブタ小屋にはさまれたこの路地は、奥の方程うす暗く、魔物でも住んでいそうでした。恐怖にふるえながら奥へ入りこんでゆくといきなり目の前に、オンボロボロのとても人の住めそうにもない、小屋といった方がいい様な家が、確かにあるのです。ふすまは、やぶれ果て、くものすがゆらゆらと風にふかれていました。その家の横には、だれがこんなにでかいうんこをするんだろうと思う位、大きいとぐろをまいた大便がこえだめからあふれでていました。私の家は福岡県の久留米という所にありますが、ここら一帯は、まるで山の中に迷い込んだ様な妄想におそわれる位、しーんとした気味の悪い所です。風のいたずらで、小屋の入口の戸がガタガタときしむ音がします。雪もまたひどくたくさん降ってきました。とても寒く体が冷えるので、中に入りました。中は、明治維新以来、だれも住んだことがないのではないかと思いたくなる位、荒れ果てて、くものすが、まるでレースのカーテンをひいた様に頭上でゆらゆらとゆれていました。私は、しのびよる無気味なふんい気に圧倒されていました。すると、どさっと何か白い物がボロボロのたたみの上に落ちました。それは白骨の女の人の手首でした。そして、それには青いくもがごそごそとはいまわっていました。赤い宝石の様に光る目でギロリとにらまれた時は、心臓がこおってしまう位、ぞおっとしました。私はもう夢中で、路地をかけぬけ家に逃げ込みました。

妖精や幽霊や青入道の私のまわりにいた時代は、もう終ってしまいました。雪の日に見たあの小屋も、いつの間にかとりこわされました。時は流れ流れて、今はアパートがでーんと建っています。暗くて細い路地も今は、ありません。

KID CARNIVAL'80

5月30・31日，6月1日　この日　芸工大が変身する。

MASHの愛読者のみなさん、こんにちは。あなた達は、九州芸術工科大学を知っていますか？　ま、まさか、あなたは御存知でしょうね。え〜まさかのために説明しておきますが（なんじゃく〜）あの新設の大橋駅から歩いて4分（私には）の所にある小さな大学なのです。それでもバカにしてはいけません。一応、国立大学であり、それも全国にまれな特色を持った大学なのですよ！

まあ、普段は入って見ても人はまばら、なにせ全部で５００人たらずなんだから少なく見えるのはあたりまえ、しかし、5/30、31、6/1　芸工大は変身するのです。そうです、芸工大始まって第10回目のKID CARNIVAL 80　が行なわれるのです。芸工大も歴史がないと言われながら早や10年、そこでここ数年、もう一つだった学園祭を、ふたたび盛り上げ、一つの転換期となるべき、近隣の皆様との交流を大切にした学園祭、題して　耕せ大橋村を企画しています。

その内容は　この時期にやるのを見ても分るように個性的なイベントをとりそろえているのです。

・産地直売　その名のとうり、耕せ大橋村のスローガンの下、輝く太陽の御恵みである野菜など、破格の安さで直売します。他のどの店も比較にならない安さ！新鮮さ！しかもです、今回は配達も行なうのです。近隣の主婦の方々、貧しき下宿生のみな様、元気な毎日、明るい人生をおくりましょう。

・おおはし村音楽祭　変わりゆく町、大橋（ほんとにえらく変った、もうビルばっかりになるのかと思うほど）のヤングに呼応して、芸工大の軽音楽部と外部の招待バンドの演奏会、音の洪水がきみを襲うこと間違いなし！　きっと来る途中で聞こえてくる、そこでこれをたよりに来るといいよ。

・空間構成　さて、これこそ芸工大にしかないという所の極目つけのイベント、前衛芸術か、神世の世界か、電子音、フィルム等による虚像をもって小宇宙をば生ぜしめんとするのは 万物の創造主たる神への反逆か！（す、すごい）三方を囲む建物の壁はもはや壁ではない、そこに超現実の空間が現われる…。あなたを不思議なイメージの世界へ御招待致します。絶対、見なきゃ損だぞ！

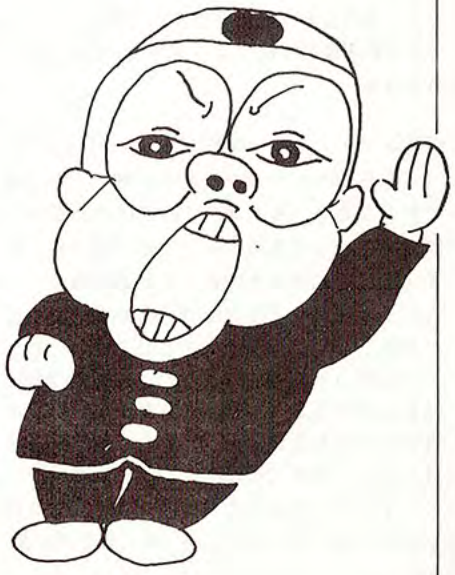
・火祭り　芸工大の学園祭はこれが無いと終わらない。原始の快感というのか、なんというのか？とにかく炎をとり囲み、なにもかも忘れて踊り狂う、見ているのもいいけど、その熱気にふれて踊るのはなおすばらしい！きみにもきっとこの熱気が伝わるはずだ、ドンドコ、ドコドコドコ、ドンドコ、ドコドコ…はてしなくこのリズムが続くドンドコ　ドコドコ…

他にも、あの「東大一直線」の小林よしのりと語ろう会、アニメーション、KISS　THESKY　ギネス½に挑戦（½でもキツイんだよ、嘘だと思うなら来てみて）、プロレス、ローラースケート、模擬店などもりだくさん。スケジュールは次のとうり、ぜひおいでください。

FRIDAY
ダンスパーティ
前夜祭

SATURDAY
産地直売
学内コンサート
大学対抗ムチャクチャ合戦
KAJA JOY　のコンサート
屋外映画

SUNDAY
産地直売
軽音バンドの演奏
大学対抗太モモ合戦
空間構成
火祭り



COMMUNICATION

新人生歓迎コンパ，これ今のままのような状態が続くならやめた方がいい。ちっとも新歓になってないのだ。ただひたすらに酒酒酒！そのために銭は取られるわ，酔っぱらいの世話はさせられるわ，もういいかげんにせいあげくの果てに，その銭のかかったものを全部ゲロゲロとやる。いつも思う。誰か犠牲になってくれと。今年は人まかせではいけないと思い自ら犠牲になろうとしたが，やはり未練があるらしく，なりきれなかった。でも来年は何か良くなるみたい。今年の一年を見てそう思った。たのんますけんねー。

学園祭，これもあってもなくてもいいもんだなあ。笛吹けど踊らず，という感じだ。笛吹く奴はまあピーピーやってるけど，踊り手はシーン。むりもない。踊ろうにも踊れないのである。なぜか？踊り方を知らないからに決まってる。誰かリードをする奴がいなくちゃねえ。委員会と一般企画だけじゃだめだよでもこの規模の学校にはちょうどいいかも知れんなあ。

弱体なクラブが多いなかで，一つだけがんばってもらいたいクラブがある。硬式テニス部です。なぜか？それは，この部はある種の人間の犠牲の上にあるから。その人間とは，軟式庭球が捨てきれず硬式に入り込めなかった人のこと。そもそもクラブ活動には二つの道がある。一つは楽しく上手になること，もう一つは勝つため強くなること。うちの学校は好きな者が集まってやってるのが多いので前者でもかまわないと思う。しかし硬式テニス部だけは，それでは困る。四年間もやってりゃ上手になるのはあたりまえ。上手になるのではなく強くなってほしい。以上ささやかな応援

■ 咆哮（ほうこう）

突然書きなので読みづらいですが，読み飛ばさないで下さいね。前から書きたかったけれど，何だか書くのがはずかしくて，（そんなことなら知ってるよ）と言われそうな気がして，書かなかったんです。でもやっぱり書きます。狼（オオカミ）の事です。今から書くことを読んだ人が，（オオカミファンじゃなかった人が）オオカミを好きになってくれたら，と思います。

オオカミについてみんなが持っている悪い印象の一番の原因は〝赤ずきんちゃん〟の話だろうと思います。あれはウソですよ。童話だからつくり話というのはあたり前ですがオオカミが悪い動物だという考えは全くのデマなんです。古来日本ではオオカミは聖なる動物，山の神の使いとされ，山人（ヤマビト）にあがめられてきました。たとえば〝送り狼〟という言葉の本来の意味は〝神社におまいりに来た人を神の使いであるオオカミの霊が帰り道の災難から守る〟というものなんです。

オオカミは人間を襲って食べたりしません。これは新しい動物学で明らかにされています。むしろオオカミは，迷い込んで来た人間の子供を自分の子供と同じように育ててくれます。狼少年の例でもわかりますよね。そしてこれは，他の動物では考えられないことです。アメリカにはウルフマンと呼ばれる，オオカミのことを観察している人達がいて，その人達の報告でも，オオカミに対して持たれていた偏見はことごとく否定されています。オオカミは心優しい，とても素敵な生き物なんです。

日本ではオオカミは絶滅してしまいました。そして世界的に見てもオオカミの住む場所はなくなってきています。そしてあの〝赤ずきんちゃん〟の話に先脳された狂信的なウルフハンターによってオオカミは何の理由もなく殺されているんです。オオカミは肉食獣だけども理由なしに他の動物を殺したりしません。たとえば食べるためのカモシカは足の遅い年寄りから襲います。それが自然の摂理です。今のように自然のバランスを人間が一方的にこわしていてはいけません。必ず悪いことが起こります。

オオカミの遠吠えを知っているでしょうか？犬の遠吠えなんか問題になりません。しっぽをまいて逃げ出してしまいます。オオカミの叫びはとても美しく神秘的なものです。〝ウオ～～ウ～～～ルルルルルルルルルオ～～～～～～ン〟。あなたには聞こえませんが，野生の悲しげな遠吠え，オオカミの咆哮が。

●もうおわかりでしょうが，ぼくは平井和正ファンの男です。何か感じるところがあったら御一報下さい。友達になりましょう。

BY LOLITA COMPLEX

'New-Tipe' 考 その1

ロック・エンド"

——それは フリー・ミュージックへ——

本来、流れることが本質であるロック・ミュージックが ハードロックにしろ プログレッシブ・ロックにしろ 一つの形態をもってしまったのは悲しいことです。それは そのまま ロックの終りなのです。だから 今、本当の意味で僕が ロックとして聞いているのは カンタベリー・ファミリー や ECM ファミリー などです。たいていの人が ジャズと思っているでしょうが、彼らは ロックとか ジャズとか フォーク、クラシック、ラテン 等の ジャンルを超えた人たち、いや音楽の究極への旅人です。僕も旅人のつもりです。

上のことばかりすると ロックに古典的名盤ができるなんて おかしい話しですが、以下 BEST 10 を あげてみました。（70年代のみ）

① 「ロッターズ・クラブ」ハットフィールド & ザ・ノース．（VIP・6902）
② 「ファウスト 1」ファウスト．※
③ 「ダイヤモンドヘッド」フィル・マンザネラ
④ 「レミングのダンス」アモンデュールII ※
⑤ 「幻惑のブロードウェイ」ジェネシス
⑥ 「エクスポージャー」ロバート・フリップ
⑦ ピーター・ガブリエル 2nd
⑧ 「夜ごとに太る女のために」キャラバン
⑨ 「ワンサイズ・フィッツ・オール」フランク・ザッパ
⑩ 「ウルフ・シティ」アモンデュールII ※

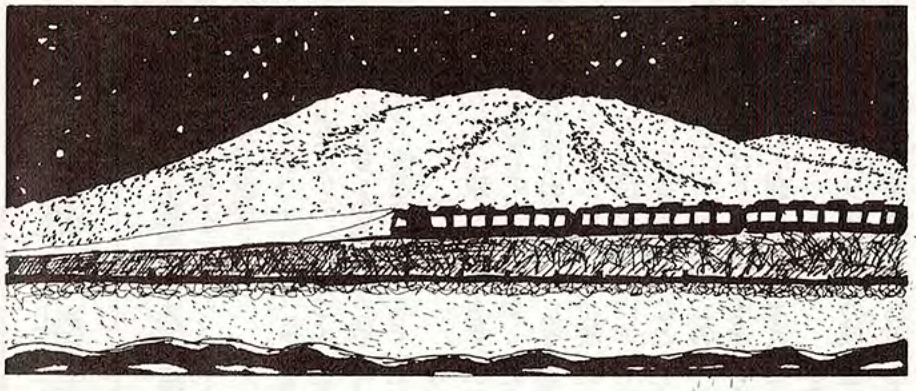
1位は ダントツです 中学3年 以来 全く あきません。2位以下は 適当です。以下 ENO や ゴング や カン、クラウス・シュルツ、M. オールドフィールド、ソフト・マシーン……あげれば キリがないのですが。

結論的に 80年代の フリーミュージックは 何をさすか というと まず パブリック イメージ・リミテド、オーケストラル・マヌーバー、ヒューマン・リーグ 他です。次回は もっと くわしく 書こうと思っています。手がきで ごめんなさい。

※印は"ゆにゅうばん"です

by ヤーノ・マッツァオ.

ショートショート　夜行急行　　作：白飛田　桁



21時53分博多発米子行きの夜行急行は、闇を切りさいてノコノコと進んでいく。車内は例のごとく騒しい。特に今時分はスキーとか冬山登山のグループが多い。一人帰省する我身としては、非常に都合が悪い。

「こりゃあ、また寝れないなあ」

と武志は思っていた。まだ23時30分、下関あたりだからしかたがない。人は絶え間なく車内を行き来している。武志には、それが不思議でしかたなかった。

しかし、武志とてグループの一員であったら、こう静かにしていられる自信はない。

「人間とは寂しがり屋だなあ」

と武志は感じた。

「クソ食らえだ！俺は小さい頃から一人で育てられたんだ。これ位のことでまいるようなヤワな神経じゃないわ」

何となくむなしい抵抗だった。

23時10分、車内の照明が弱くなる。

「全部消してしまえ。そうしたら誰も一人一人、自分の世界に帰るのに。見せかけの栄かさなんか、なくなっちまうんだ。いつも、仲間とワイワイ騒いでいる奴らにこそ必要なことなのに」

「人間は、あまりにも軽々しく口を出しすぎる。他人の世界に土足で入り込みすぎる。話すのはいい。しかし、返事を強要するのはよくない。人はよく対話をする。しかし、結局のところ、他人に自分のことが解らないように、自分も他人のことが解ってないのに気づく。このことを、知らない人があまりにも多すぎる」

列車は闇を切りさいて進んでいく。

「俺は人間嫌いなのか？そうかもしれん。人と話したいと思うことは？特定の人ならある、がよく巷で見かけるように、誰かれとなく話そうと思ったことは一度もない。恐いのか？ある面ではそうかもしれない。でも、わずらわしいと感じる方が強い」

闇の中を列車は行く。

「言語が発達しすぎたのかもしれない。人間はその代償に意志・テレパシイを失った。見せかけの、ごまかしのきくものになってしまった。人が感動するとき、言葉などでなく何かを感じるはずだ。口では言えない何か！それが、一番大切じゃないのだろうか。そこには、もう誤解も何もない。一体感があるだけだろうに」

夜行急行は、闇に吸い込まれて行く。

＊アニメ狂の戯言

＊九州芸工大アニメーションクラブ＊

僕達の年代つまり二十歳前後の人間は、物心ついたころからアニメーションと接してきた最初の世代である。

それ以前からデイズニーなどアニメを観ることは、出来たがテレビアニメーションという形で多くの子供に支持を受け出したのは、僕達の世代からである。

幼い頃からアニメに親しんだ者も年と共にアニメを卒業していく。しかしここ数年そこから抜け出さなかった者によってアニメブームという状態が続いている。観るにあき足らず実際にアニメの制作をしている者が増えたことも事実である。ここでアニメブームの是非を論ずるつもりはないが何故僕達がアニメを創りそして観るのかを考えてみたい。

未来少年コナンやカリオストロの城の制作者として有名な宮崎駿氏はある雑誌で次のように述べられている。

「人間は生まれ落ちたときに可能性を失っているのである。過去と未来に人類の歴史がある中で、一九七八年に生まれた瞬間、あらゆる時代に生まれてくる可能性をその人は失ってしまったわけだ。そこで、空想の世界で人は遊ぶ、これは、一種の失われた可能性への憧れであり、アニメをつくる原動力になっているといえよう」

僕達のつくるアニメーションは氏のそれとは技術においてもイメージの広がりにおいてもまた資金においても遠くおよばないが、アニメーションをつくっていこうとする原点においては少しも変わりはしないと思いたいのである今、自分自身において精神的な空腹感を持たず、自分の感性によってつかみ得た以外のモラルや、常識をうのみにすることを潔しとした者によっては、創造的世界はつくり得ないと思うのである。僕達は心に常に満たされないものを抱いてアニメをつくってゆきたいしまたそうでなければアニメをつくってゆく事は不可能ではないだろうか。しかし僕達が自分達の世界を画面に創ってゆくにはあまりにも未熟である。

アニメを観る事はつくる事にも増して興味深い少し動画等の技術をかじると、あそこの動きがどうこう、絵的にどうこうと生意気な事を言いたくなる。確かにこれは余談としては楽しい。しかし一本の作品の中で作家の感じとったイメージの中の一カケラの場面をわずか一ショットでも見のがさずに見ることが最も大切ではないだろうか。もし僕達のつくった未熟な作品を観る機会があった時は、だれもがそう観てくれることを願って止まない。

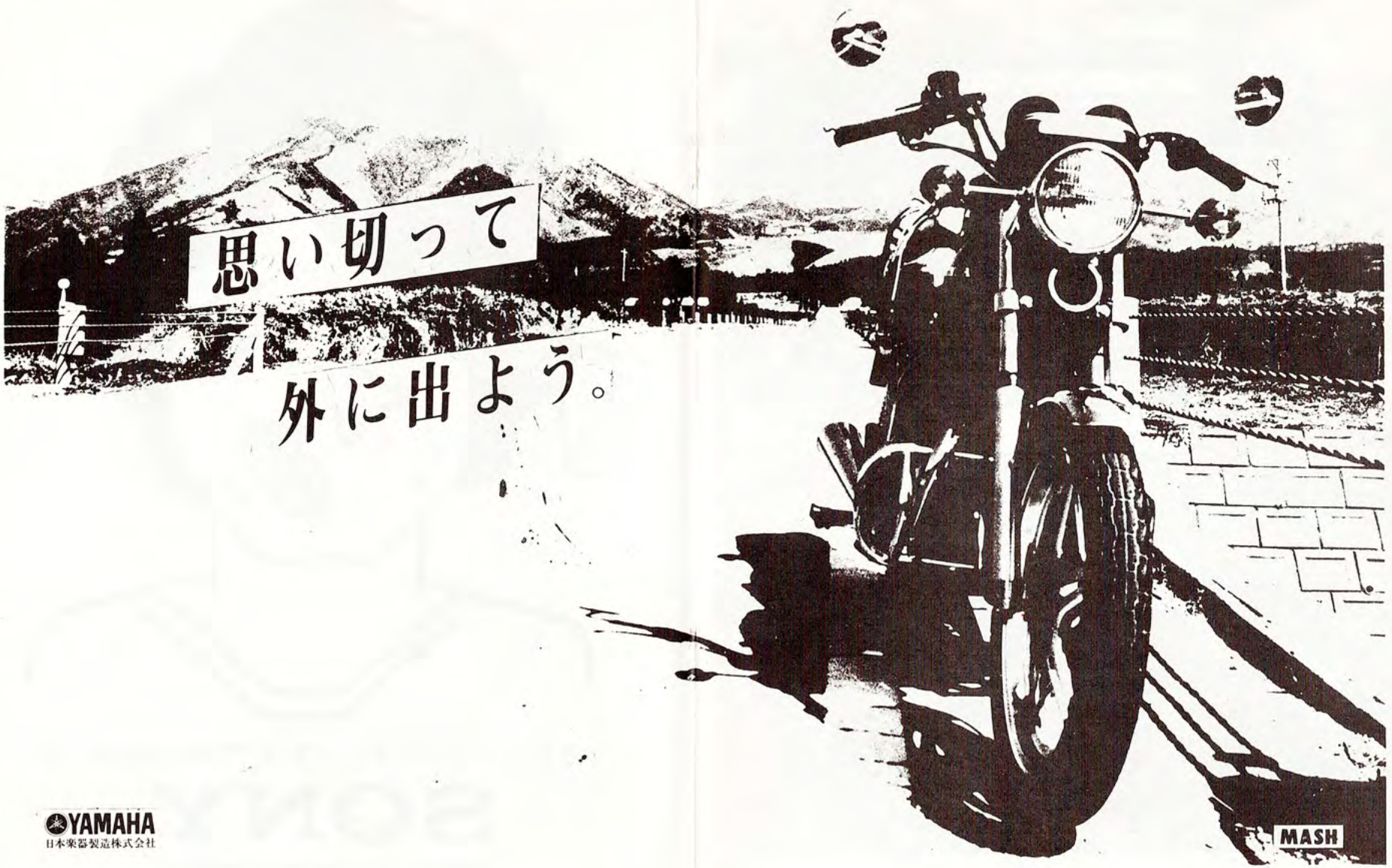
広告

モモエチャン　カムバック

モモエチャンも今年で引退　　でも、ビデオがあれば来年もあえます。

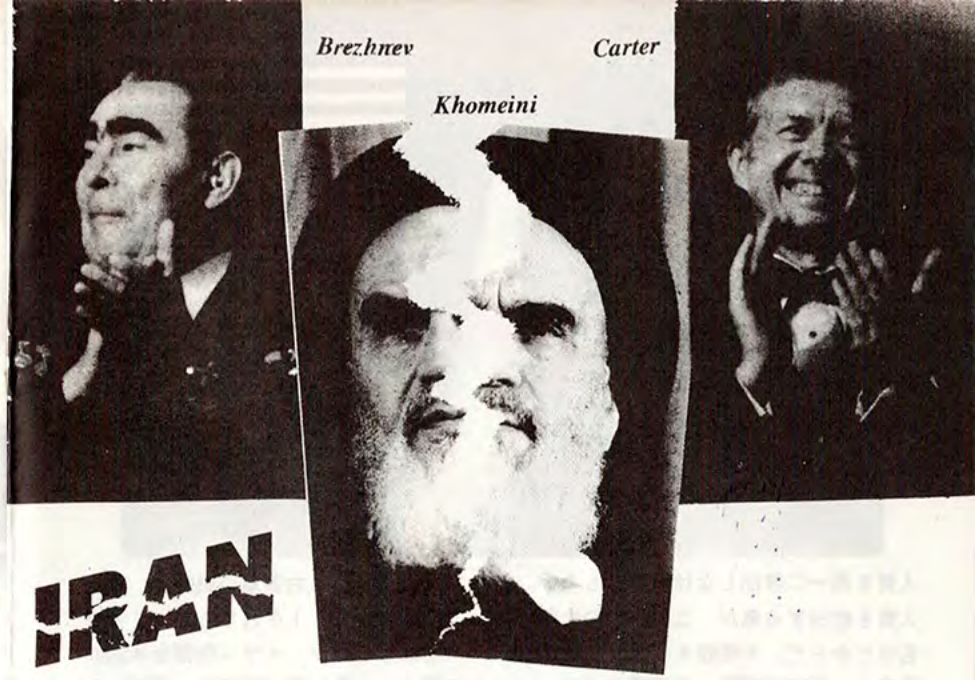
SONY®

●カタログの請求　〒141 東京都大崎局区内ソニー商事㈱カタログ係へ。

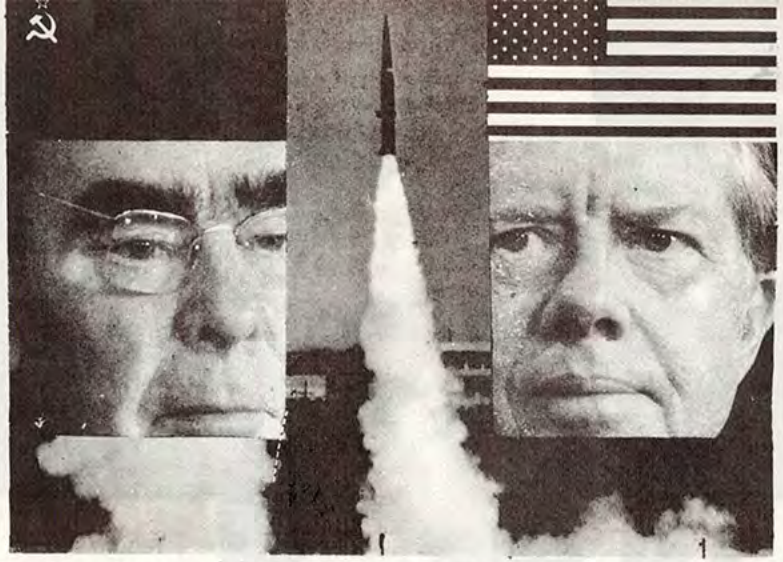

思い切って
外に出よう。
YAMAHA
日本楽器製造株式会社
MASH

AP photos

A charred body amid helicopter wreckage in the desert: At home, shock and dismay



イランの米大使館が、イラン人学生によって占領されて以来、米国が人質解放のために取った手段はことごとく失敗した。米国の威信は汚され、誇りも傷つけられた。もはや、同盟国も信用できず、経済制裁の効果も期待できない。カーター大統領に残された切り札は、軍事手段だけであった。イランの狂信的学生たちから人質を解放するには、力ずくでするしかないのである。4月24日に行なわれたものは、その第一段であった。しかし、これは完全に失敗した。イランの軍事力を過小評価しすぎたのだ。イスラエルの特殊部隊が、ウガンダのエンテベ空港に着陸したハイジャック機から、人質を無事救出したように、今回もうまくいけばよかったのだが、やはり、ウガンダとイランでは、かなり軍事力に差があったようである。第一段階の人質救出作戦が失敗した現在、おそらくホワイトハウスでは第二、第三の作戦が検討されているであろう。今度は、もっと大規模な作戦にちがいない。空挺部隊と空軍による強襲作戦も考えられる。エンタープライズ、ニミッツ、アイゼンハワーの3原子力空母を使えば、イラン空軍などひとたまりもないだろう。空軍を壊滅させておいて、イランの油田地帯に海兵隊を上陸させるのである。油田さえ確保しておけば、イランなど張り子の虎にすぎないのだ。イラン経済は石油で成り立っているからだ。もちろん、油田を確保するだけでなく、



人質を第一に救出しなければならない。人質を救出する事が、この作戦の大義名分だからだ。大使館を占領している学生と、米空挺部隊との戦闘により、人質のほとんどは殺されるかもしれないが、ひとりでも救出できればいいのである。それによって作戦は正当化されるのである。もちろん、米国が、イランに軍事力を行使した場合、ソ連が何もしないで見ていることなど、とうてい考えられない。ソ連も、イランに対して軍隊を送るであろう。この場合イランを米国の侵略から救う、というのがソ連の大義名分となるのである。北からソ連、南から米国、イランは米ソ超大国の兵器オリンピックのスタジアムになるのだ。しかし、ここで米ソ両軍が激突すれば、世界は第三次世界大戦へと一気に突っ走ってしまう。クレムリンもホワイトハウスも、まだそこまで頭に血がのぼっているとは思えない。おそらく、米国とイラン左派軍ソ連軍とイラン右派軍の戦闘が、南と北で続けられ、1ケ月くらいで、イラン北部をソ連が、イラン南部を米国が占領し、イラン軍が徹底的に壊滅した時点で終わるような気がする。そして、北部に、親ソ派のイラン民主主義人民共和国が、南部に、親米派のイラン連邦共和国ができるのである。こうして米国とソ連にとって一応満足すべき結果となり、再び、世界は平和になる。この平和は、10年くらいは持つだろう。そして、米ソの次のターゲットはどこだろうか？おそらくヨーロッパでは戦争は起こらないだろう。英、仏の核保有国があるからだ。それに、米国は、自分たちの「ふるさと」ヨーロッパを破壊したくはあるまい。それでは、ターゲットはどこか？私は、日本が一番狙われるような気がする。日本が、北日本、南日本の2国に分裂しない事を祈りたい。

ロンリー・タイガーについて.

〝一匹狼〟ってよく聞くでしょう。小説や世間話しなんかでさ。何となくユトバの響きから、カッコ良さ，スマートさ，ニヒルさ，強さを感じさせ、人々から恐れられているみたいですが、あれは例えが悪いんですよ。

狼の何が怖いって、集団でいるから怖いので、一匹だけだったら、そう恐れるにたらない存在なのです。だから、小説の主人公の設定に一匹狼は向いていません。

本当に一匹だけで恐ろしいものは何でしょう。それは虎なのですよ。密林の中をただ一匹で工モノを追って一匹で生きていくのです。その精神力の強さ，ライオンなどの比ではありません。

ですから、これを読んだ人は少なくとも一匹狼とは言わないで、一匹虎と言って下さい。

僕は一対一だったら虎が最強の陸上動物だと思っています。ライオンは共同作業しかしません。ヒョウもなかなかのものですが、いかんせん小動物です。そうヤマネコのデカイだけのようなものにすぎません。唯一の強敵は龍でしょう，しかし、龍は今はいません？

しかし、龍虎が本当に争ったら、スゴイことになると思います。

皆さん、虎ですよ虎。狼じゃありませんからね。狼の本当の姿はP11で編集長が述べていますから、それを読んで下さい。

〝タイガーマスク〟というアニメ，好きでした。〝トラ、トラ、トラ〟好きでした。〝山月記〟好きでした。〝トラよ，トラよ〟好きでした……

しかし、マン、イーターは恐ろしいですね．皆さんも送り狼より送り虎に気をつけましょう。

担当　白飛田　桁

前回、技のことについて書いたらプロレスを良く知らない友達から「難しくて何のことやら解らなかった」と言われてしまった。

だから今回はグッとくだけて、プロレスへの考え方について述べておくことにする。

プロレスという言葉を今まで一度も聞いたことがない人は別として、一部のファンを除いては「ああ、プロレスね。どうせショーで勝負は決まってるじゃないの」などと言って見向きもしない人が多い。

しかし、ショーでもいいじゃないか。思うにプロレスほど華々しく人を投げたり蹴ったりする格闘技があるだろうか。よく使われるボディースラムだって、普通の人なら一発でダウンだけど、レスラーはあんなことバンバンやっててまったく平気なのだ。このことだけでも注目に値すると思う。ちょっとしたスーパーマンといったところだろう。もしかしたら、あまりに軽々と人を投げたり、また投げられても平気なものだから、真実みがないと思われているのかもしれない。でもレスラーの体つきを見れば納得いくと思うけど。…

でもいくらなんでも場外乱闘は気に入らないなあ。特に、リングアウト後や何だかわけの解らない場外乱闘には演出くささが出て、いやになる。僕がまだ本当のファンじゃないからかもしれないけど。

福岡には本当のファン達が作っている格闘通信（やっぱりミニコミになるのかなあ）という本（ウソだ！ただのチラシだ！と言う声あり）がいたる所に置いてあるはず（そうだよねえ、大塚君）だから目についたら読んでみたら。

MASHとしては宣伝料はもらっておりません。念のため。

以上担当　白飛田　桁

ESSAYS

＊六人目のビートル

◉ ユートピア

たとえば、イギリスの数学者ルイス・キャロルの「不思議の国のアリス」の中で、アリスが、ウサギの穴におっこちてしまう場面があります。穴の底につくと、そこには小さな穴があり、まばゆい光がこぼれ出していました。アリスはその穴のむこうをのぞいて見ました。したら、まあみなさん何があったと思いますか。赤や白やその他美しい色のとりどりの花の咲きみだれている野原でした。アリスはそこへ行ってみたいと思いました。

私は、時々、そういう所へ行ってみたいと思う。そんな理想郷がどこかにないかしら。ないだろうなあ。今までさがしてみて、どこにもなかったもん。

日本昔ばなしの中で、かくれ里というのがあるけど、あれも結局、まぼろしだったのかもしれない。H・G・ウェルズの短編の中にも、金と名声を手に入れたが、自分の人生に満足しきれない男が、ふらっと、理想郷に足をふみ入れる話がある。大体、この世はキビシイから、だれでも一度はつらさや悲しさの全くない夢の世界へ行ってみたいと願うものだ。どなたか、理想郷のある所を知っておられる方は、私に知らせて下さい。お礼はいくらでもしますから。

◉ 白雪姫

くだらんことだとは、思うのだが、最近、白雪姫のお話の続きは、どんなだろうなあと考えるのだ。白雪姫は、雪の様に白い肌と、血の様に赤い唇をし、黒炭の様に、黒い髪をしたとても美しい女性です。そんな美しい女と、結婚した王子様は、さぞかし幸福でしょうねえ。一般の人は、そう思うが、わしゃあそうは思わん。なぜなら、白雪姫にも、とても嫌な点があり、結婚後に、王子もそのことに気がつくはずだから……。たとえば、オナラがとても臭いとか。

案外、美しい女というものは、遠くから、見つめている方がいいのかもしれない。いやきっとそうだ。どんな好きな女でも、一度、自分のものになったら情熱がさめてしまうのではないかな。感覚の慣れもあるしね。ボクの大好きなアンデルセンは、3度、恋をしてすべて失恋に終った。それは、彼に男らしさがなかったから。でも、冷静に考えてみると、望むものを手に入れて失望するよりましなのかもしれない。

情報思考見聞感想意見

劇場アニメーションの火の鳥2772愛のコスモゾーン、あまりおもしろくなかったなあ、と思いました。アニメーションというのはホントに時間がかかるものなんです。だから、省略する所は省略し、見せる所はキッチリ見せるといった制作態度が必要なんですよね。今回のハナシは、かなり長い（ゴドーという少年が生まれてから、20才くらいまでを扱うのだから）ものなので、なおさらそれが言えるのでした。ところが、映画はそのハナシの見せ方がどうもチグハグという感じがつきまとっていたのですね。上映時間は2時間位あったと思います。アニメーションは、時間が短くなってもいいから、その分動きの面でも、脚本の面でも、じっくりやって欲しいと思うのです。

最近は原悦子よりも好きな三崎奈美を見に久しぶりに日活へ行った。すると山本晋也監督、久保新二主演の映画とカップリングされていて、実にラッキーだった。久保新二を見ていると、なぜか安心感を覚えてしまうのである。つらいこと、悲しいことがあった時は、久保新二のポルノを見たらいい。きっと立ち直れます。

MASH1号以来書かなかった自販機ポルノのことを少し書きます。

スターごみあさりシリーズという企画（山口百恵、かたせ梨乃等の家のゴミを掲載した）で一躍マスコミでも有名になったJAMという雑誌が今度、HEAVENというタイトルに変わって再出発しました。毎月21日頃発売のようです。自販機ポルノとしては画期的でカッコイイ本です。フアンの人は一度買ってみて下さい。

宝島という本が 480円から 250円に値下げされました。これはやはりポパイという本を意識してのことでしょうか？いずれにしても安くなることはいいことです。ゴローはなんと値上げされました。しかし、紙が値上げされたことだし、本はこれから値上げの時期をむかえるでしょう。MASHも、お金を出して持って行く人があらわれないでしょうか……？

東京に行ってミニコミをいろいろと見てきました。その報告を。

有名なのは、キャンパスシテイー、ねこの森、太股、中大パンチ、等ですキャンパスシテイーはついに見つかりませんでしたが、聞いたところによると、無料で喫茶店 300軒ほどで配っており、ほとんど広告と学生の無料奉仕でまかなっているそうです。映画と音楽の情報を中心とした〝情報誌〟であり、東映と関係があるそうです。ねこの森というのは、今休刊していますがミニコミとしてはかなり長い、2年程続き、その独自の編集姿勢は高く評価されています。これは有料で 160円ですが、決して高くありません。毎回、特集と、UとPあ通信という対談形式の時事放談で構成されています。特集というのは例えば、10号＝好奇心、11号＝60年代、12号＝女、といったぐあいです。サイズはGOROと同じA4判で読みごたえあります。表紙2色刷りです。ただ手書きなので、ちょっと読みづらいという点はあります。

太股、中大パンチ、特に太股は完全にポルノ志向の本です。女子大生のヌードが掲載されていて、発禁スレスレと言うか、おそらく発禁行為をやっていました。ミニコミということで許してもらっているのか、又はまだ見つかっていないのでしょう。太股の編集をやっている杉森昌武という男はこの他にもいろいろとミニコミを出していて、売れなくなると、タイトルを変えるというやり方をしているようです。中大パンチも中央大学の杉森という男が参加しているものですが、こちらは宝島なんかにも掲載されて、その表現のストレートさが何ともおもしろい本ではあります。こちらも、一応有料ということです。

福岡のミニコミはほとんど無料ですよね。これは、編集員がジバラを切るということもありますが、学生の出せるお金はたかが知れていることなので、無料でやれるということは、それだけの内容しかやれないということを示しているんです。

福岡でも、そろそろ有料のミニコミができてもいいんじゃないでしょうか？

レコードをとても大切に扱う人がいます。レコード盤の表面には絶対に手をふれないし、聞く時にはスプレーをかけて、ほこりを払う。キズなどもっての他というわけです。ところが、そんな人も本となると乱雑に扱いますね。折り目はつけるわ、グラビアは破って持って帰るわ、手あかはつけるわ、ひどいもんです。ミニコミを作るようになってから特に私は、たとえ雑誌でも大切に扱うようにしているので、そんな人を見ると非常に腹が立ってくるのです。芸工大の音響設計学科と画像設計学科の関係を見るまでもなく、現代ほど音響関係と出版関係が差別されている時代はないんじゃないかと思います。つまり今は、目による文化よりも耳による文化の方が優遇されているんです。何とかこれは逆転させねばなりません。みなさん本を大切にしましょう。使いすてだけはやめて下さい。

久留米

最近、中央公園では、フリスビーをする人や、ローラースケートをする人バドミントンをする女の子、ジルバを踊る女の子のグループ等が増えています。晴れた日には、行ってみましょう。きっといいことがあるかも。

SL430 ROCK

OP LP 50

マンネリ人間マンガ考

第5回　なぜマンガなのか

早いもので芸工大の学生生活も、もう半分を使い果たしてしまった。この二年間、マンガ映画や同人誌を作ったりして、いろんな事をいっぱいやった様でまた、何もしていなかった様な気もする。しかし、何やらいつも忙しかったのは少なくとも事実らしい。

三年生になると、どこの学科でも専門課程にはいる。我が画像設計学科も、画像計画やら映像美学基礎論などの専門的な分野を受講できるに至ったが…いやはやなんとも、どんなものにでも専門家ってのはいるもんだねー。いかに小さな分野でも真剣に取り組み研究すると、それが一つの学問になってしまうんだよね。

さて、そういったビジュアルな表現についての講義でふと思ったのだが、その表現形態として映画や絵や写真を取りあげているが、なんでマンガは無視されているのだろうか？　絵にしても人間の手で描かれたものとしか定義されていない。また、記号学という分野があるが、これほど簡略化した表現形態であるマンガが、まるで問題にされていない。なんで？　そればかりか世の専門家たちはこぞってマンガをバカにしている。な●ん●で？

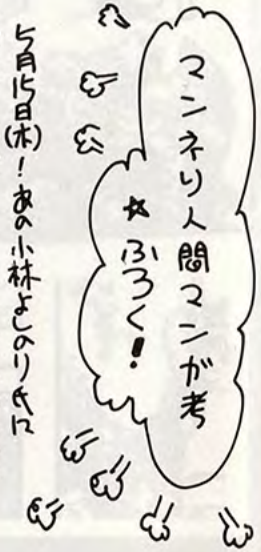
マンガは、写真や映画なんかよりずっとずっと歴史は古いんだ。べつにマンガは手塚治虫から始まった訳じゃない。もっと昔の、そう…鳥獣戯画（12c-13c）だって、あれはマンガだよ！　いや、もーっと昔からあったはずだよね。これだけ長い間つちかわれてきたのに、風俗研究のごく一部で述べられているにすぎないのだ。もうそろそろ単なる評論家なんかじゃなくて、マンガの歴史、表現技法についての分析、分類など本気で研究する専門家が出現して、ちゃんとした一つの分野として認められる時代が来てもいい頃だと思うけどね。僕は。どこぞの大学に漫画学科なるものがあるそうだが、そこにはこういった専門家が既に存在するのだろうか。もしいるとしたらその講義ゼヒ受けてみたいなア。だけどそんな噂なんか聞いた事ないし、そういった人がいるなら少しは他の専門家たちの意見も変っているハズだよね。

ところで、こういった考え方に対して、マンガはもっと気ままな発想で生まれる大衆娯楽物だから、いっちょ前に学問とか偉そうに専門家ぶって取りあげるのは好かん。という人も当然多勢いると思う。実際、ちょっと大ゲサの様にもみえるが、自分の読む、描くマンガのマンガたり得る秘密を解明する事は、誰にも大切な事だと思う。そんなら一人で勝手に解明すればいい…と昔、同人会でコケにされた事もあったが、こりずに述べるのだ。

僕の言うマンガたり得る秘密というのは、マンガ特有の表現効果にある。例えば、①はなぜガラスらしく見えるか。なぜ②の線を入れると驚いて見えるのか。なぜ実際にはあり得ない線を書くのか③。なぜ質感が出るのか④。☜はなぜポケッとした雰囲気があるのか。ふきだしを⑤にするとなぜ心理描写だとわかるのか。なぜ目と眉がくっついているのか⑥。書いたらきりがないが、我々はこれらについてマジに考えた事があるだろうか。また、なぜ最近のマンガ家は殆ど⑦型のコマ割りをして、古いマンガ家や星野之宜が⑧型のコマ割りをするのか。そして、ネーム（セリフ）の字体が漢字はゴチックでひらがなは明朝である理由を知っているだろうか。

マンガには、国語に例えれば文法にあたる、数多くのルールが成り立っているのだ。書き手も読み手も、なぜか必らずこのルールに従っているのである。が、しかし、手塚治虫に代表される数多くの開拓者らによって築かれてきたこのルールの意味を、あふれんばかりの今日の新人たちは本当に理解しているのだろうか。自分たち以前の人々の描く通りに、なんとなくただ流されているだけではないのだろうか。まあそれだけが現代マンガの荒廃の原因とは言い切れないが…。ただ、手塚治虫はこう言った安易な新人たちの姿を知っている。そしてその彼らたちに固められた今のマンガ体制が続く限り、自分の存在は誰にも脅かされず、巨匠の地位は安泰であることも知っていると、僕は予測している。

はるか昔からこれほど我々庶民大衆の生活に密着してきた、このせちがらい世の中における我々の唯一の財産であるマンガを、大衆の手から専門家や学者だけの手にゆだねてしまう事は決して望まない。しかし、我々は今まで通りに面白いマンガを探し読みし、また少女マンガの少年マンガへの融合に熱中しているだけで、本当にいいのだろうか。ここいらで改めて、自分はマンガの何を読んでいるのか、なぜ自分はここん所をこう描くのだろうかと、見直してみる必要があるのではなかろうか。その中から我々は、今のマンガ体系を立て直す新しい開拓者となる糸口を見い出すことができるかもしれないのである。…この文章が僕の立て前だけには終わらない様にしたいと思います。



5月15日(水)! あの小林よしのり氏に会ってきたのです。今年の芸工大学祭の出演?交渉という名目で、明の大平かずおさんと一緒に小林氏のマンションに行ったのです。会ってみて、ボクが想像していたよりまかいな人でした。自宅と仕事場は別、そこでですが、この小林氏の部屋はまさに研究室…マニアの集の…という感じで小説や東京大学なんかの本で本棚はいっぱいでした。大平さんから"小林さんはシビアな方人"ってまかされていたのですが、やっぱりかなりシビアな意見をもった人だと思います。新語をつくる第一人者である小林氏との話の中で、"びくとも笑かない"というコトバがとつぜん発生して大笑いでした。小林さんと大平さんの話がきたい人は芸工大学祭、6日-8日(日)づつの時に…おいでませ

ぼくたちにおたよりを下さい。そうしないともうめげてしまいそうです。ハガキでいいんです。年賀状のあまりでも結構です。とにかく、読んでいる人がどう思っているのか、それを知りたいと思っています。

たとえハガキ一枚でも、送るとなればそれなりに手間ひまはかかります。だからこそ貴重なんです。みんなからの熱い一枚があれば、ぼくたちはどんなに勇気づけられるかわかりません。

あて先はいつもの通り

〒830

久留米市荘島町15−10

森　豊